

なんぶ

議会だより

第56号

平成30年9月議会
発行/平成30年11月



南部中3年生 わが町に提案 まち未来会議



まち未来会議

南部町号

私たちの未来へ 発進!

発行/南部町議会 〒683-0351
鳥取県西伯郡南部町法勝寺377-1
TEL0859-66-4804 FAX0859-66-4806
<http://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/gikai/>
編集/広報常任委員会 印刷/富士印刷株式会社

- 平成29年度決算……………2
- 一般質問……………7
- 住民の声をきく会……………12
- あいみ手間山地域振興協議会……………16

平成29年度
決算

一般会計

賛成

10人

反対

3人

で認定

9月定例議会

平成30年度9月定例議会が、9月6日から9月26日まで21日間の会期で開催されました。平成29年度の一般会計・特別会計の決算をはじめ、平成30年度の一般会計補正など19議案が審議され、すべて認定・可決されました。3件の発議案では、1件が採択され、2件が不採択となりました。

討論

反対

- ① 非常勤の職員を正職員化していないので反対する。
- ② 複合施設の建設に多額の建設費用が掛かる試算があり現在の建物を増改築して工事費を少なく抑えた設計で計画するべきで反対である。また、今ある図書館を建て直すことも反対である。
- ③ 子育て支援はまだ不十分であり、反対する。
- ④ 西伯病院会計に県の利子補給補助と同額を一般会計から繰り入れていないから反対である。

賛成

- 確かに予算執行率が低い事業もあったが、全体的には執行率は高く職員の頑張りがあらわれた決算と判断できる。
- ① 職員の正職員化は年次計画的に行っているので賛成する。
 - ② 複合施設については、29年度はパブリックコメントを募集して全体計画を策定した予算であり賛成する。
 - ③ 小中学校の空調システム整備は、事業を評価する声が大変多い事業であった。
 - ④ 地域バス対策事業、公共交通検討事業は、住民にとってバスの利便性をどう上げていくのかの十分な検討がなされた良い事業である。

29年度一般会計決算の認定採決結果（○賛成 ×反対）

会計名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三鴨	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
平成29年度一般会計歳入歳出の認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×



林道災害復旧事業



小中学校エアコン整備



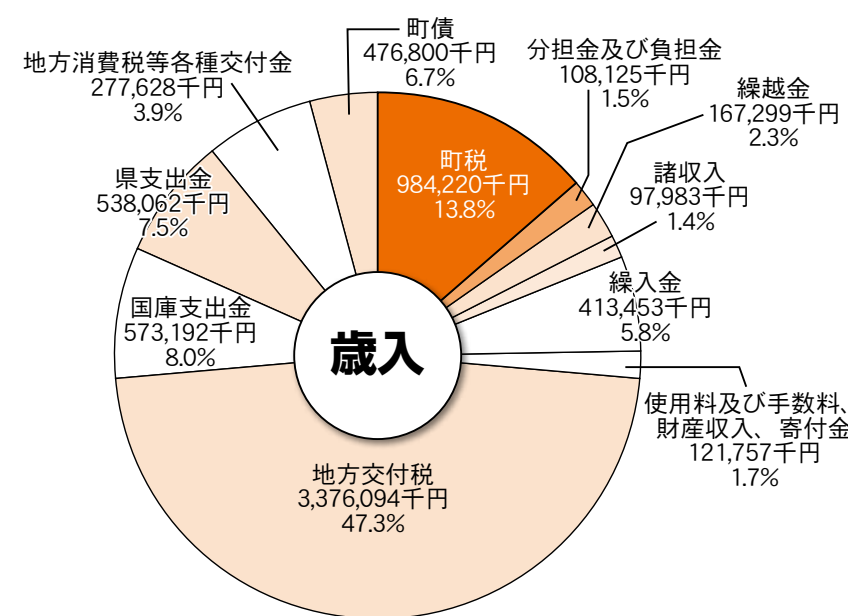
防火水槽



東西町運動公園

歳入 71億3,461万円

（前年対比2億7,860万円増）



主な事業

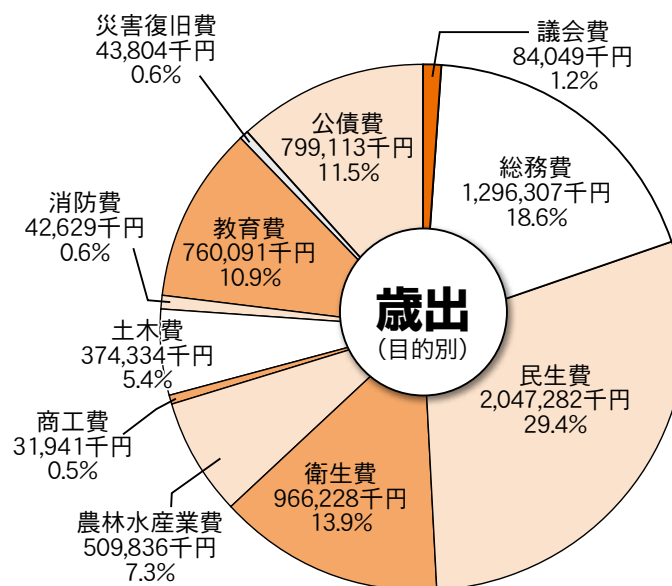
- サテライト拠点施設整備事業（賀野地区）……………7,128万円
- 介護保険対策事業 ……………2億186万円
- 水道統合事業出資金（新規事業）……………1億1,522万円
- がんばる農家プラン事業 ……………2,275万円
- 東西町公園整備事業 ……………4,066万円
- 防火水槽新設事業 ……………848万円
- 小中学校空調整備事業（新規事業）……………2億3,253万円
- 林業施設災害復旧事業 ……………3,262万円

基金を活用した事業

- 公共施設整備基金
東西町公園整備事業 ……………4,066万円
小中学校空調システム更新事業 ……………8,000万円
- 地域振興基金
水道統合事業出資金 ……………1億1,522万円
- さくら基金
観光資源等魅力向上事業・子どもの育成推進事業
高校生サークル国際交流事業……………275万円

歳出

（目的別）



歳出 69億5,561万円

（前年対比2億6,690万円増）



えんがーの富有



がんばる農家プラン事業

平成29年度 国民健康保険・高齢者者医療
住宅資金貸付・農業集落排水・浄化槽整備・公共下水道事業
会計決算の認定採決結果（○賛成 ×反対）

賛成 10人
反対 3人で可決

会計名(決算)／議員名(議席番号順)	歳入 (万円)	歳出 (万円)	差引額 (万円)	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三鴨	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
国民健康保険事業特別会計	150,981	147,836	3,145	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
後期高齢者医療特別会計	13,073	12,900	173	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
住宅資金貸付事業特別会計	465	114	351	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
農業集落排水事業特別会計	25,874	25,856	18	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
浄化槽整備事業特別会計	5,676	5,374	302	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
公共下水道事業特別会計	18,225	18,186	39	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

その他の議案 全員一致

案 件 名

- 工場立地法第4条の2第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定
- 町営バスの管理及び運行に関する条例の一部改正
- 上水道事業の設置等に関する条例及び上水道給水条例の一部を改正する条例の一部改正
- 辺地に係る公共施設の総合整備計画の策定

平成30年度 補正予算(2号) 緊急を要するため即日議決
全会一致で可決

平成30年7月豪雨災害復旧及び災害関連予算

事業内容

林道災害復旧事業	5,609万円
農地・農業水路災害事業	115万円
道路橋梁災害復旧事業	1,069万円
道路斜面崩壊復旧事業	1,050万円

平成30年度補正予算(3号) 賛成 10人 反対 3人で可決

賛成

①農山漁村振興交付金の使途は、農泊を観光ビジネスとして自立的に活動できる体制の構築やプロモーション、研修等の初期費用に充てるもので、協議会を組織し交付金を貸し付け事業実施をする事業であり賛成する。

②「いくらの郷」が農泊事業の中に入っているので反対である。

反対

討 論

【一般会計の主な内容】

補正額

●CATV施設管理	1,180万円
●介護予防地域新事業	308万円
●農泊推進事業	1,000万円
●林道管理事業	400万円
●学校管理費（南部中）	445万円
●災害復旧事業	1,700万円
●緑水園管理事業	280万円
●公園管理事業(カントリーパーク) など	276万円

その他の会計報告 全員一致

会計名(決算)	歳入(万円)	歳出(万円)	差引額(万円)
墓苑事業特別会計	373	373	0
太陽光発電事業特別会計	8,404	8,397	7
水道事業会計 収益的収支	20,269	21,222	△953
資本的収支	13,644	12,223	1,421
病院事業会計 収益的収支	238,234	243,169	△4,935
資本的収支	15,822	31,867	△16,045
在宅生活支援事業会計	3,780	3,276	504

主な会計決算認定の討論

国民健康保険事業会計

賛成

国保会計では、所得の程度により税の軽減を行っている。今年度は、基金残高がない状況で、決算で何とか黒字を確保した。町からの負担と保険者の負担の負担で国民保険の維持と継続が、必要なため賛成する。

反対

国保税は、年金生活者に重くのしかかっている。ので、一般会計を繰入れて負担を軽減するべきで反対する。

後期高齢者医療

賛成

保険料については、県広域連合で算定している。軽減制度も採用しているので賛成する。

反対

同じ家に住んでいるが、高齢者を別の保険に加入させて分けることにしている。年金が段階的に引き下げられていく中で、保険料の負担が年々高まってきている。ため保険料をもっと安くすべきで反対する。

住宅資金貸付事業

賛成

事業は確かに終了している。町として国へ働きかけると、今のところ町で事業として取り組んでいない。反対するべきものでないのでも賛成する。

反対

国の制度を町が肩代わりをして、貸付金を回収している状況であり、町に何ら責任はない。この事業を国に返すべきであるため反対する。

農業集落・浄化槽・公共下水道会計

賛成

農業集落排水事業・浄化槽整備事業・公共下水道事業とも長年値上げもせず一般会計から繰入れている。維持費を加えては協力できない。使用料を安くすべきであり反対する。

反対

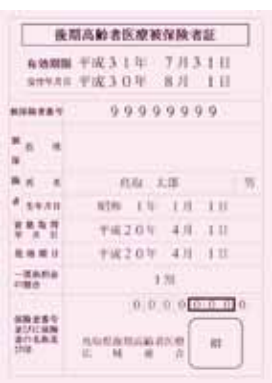
農業集落排水事業・浄化槽整備事業・公共下水道事業とも接続率は増えない。は、加入金、負担金が高いからである。使用料を安くすべきであり反対する。



西伯病院



ナースコール（3A病棟）



被保険者証（見本）



クリンビュア西伯

議員名	発言時間	質問事項
1 板井 隆	30	1 町における防災対策 2 西伯病院の運営
2 白川立真	25	1 なんぶ創生総合戦略 2 防災教育
3 荊尾芳之	30	1 地域公共交通 2 防災体制
4 亀尾共三	30	1 法勝寺高校跡地利用事業 2 自転車を活用する町づくり 3 子育て支援の拡充
5 仲田司朗	30	1 農泊推進事業 2 産業廃棄物最終処分場
6 景山 浩	30	1 町の中心地対策 2 生涯現役社会が進む中での住民共助の姿
7 加藤 学	30	1 会見小学校の夏休みのプール開放 2 単独介護用品支給事業 3 産業廃棄物最終処分場再開
8 真壁容子	30	1 産業廃棄物最終処分場問題
9 細田元教	30	1 地方創生



あなたの声を
町政に問う！

【質問の通告】
一般質問は、議題と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。

【一般質問の時間】
定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定めている。町民皆様の声を町政に問います。

町長 ①県営ダム事務所では降雨に関する警報が発令された時、警戒態勢にはいり、洪水に備えている。満水、放水を行う際には、一時間前に連絡がくる。情報を十分に把握し、町民へ情報を提供し安全に避難していただく。



鳥取県営賀祥ダム

②砂防ダムは県の管理となつて連携について。
③ため池の連携での地域管理者との連携について。
④水害、土砂災害等のハザードマップを活用した住民と町との連携について。

町長 ①県営ダム事務所では降雨に関する警報が発令された時、警戒態勢にはいり、洪水に備えている。満水、放水を行う際には、一時間前に連絡がくる。情報を十分に把握し、町民へ情報を提供し安全に避難していただく。



板井 7月豪雨で、我が町も災害対策本部を設置し、町民の生命と財産を守る対策がなされた。豪雨災害から町民の命を守るべき対応について伺う。

A

防災訓練の参加で防災意識の高揚を

町長

Q

豪雨防災時における町の対応は

防災対策

板井 隆 議員

30年度一般会計補正予算の承認採決結果（○賛成 ×反対）

会計名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三嶋	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
平成30年度一般会計歳入歳出補正予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

全会一致で可決

国民健康保険事業 ……27万円

国保事業報告システム(コクホ・ライン)の平成30年度法改正に対応するためのシステム改修経費

後期高齢者医療 ……35万円

後期高齢者医療広域連合電算システムの更新にかかる窓口端末及びプリンタの導入と保守料の増額

発議案

案 件	提出者	可否
島根原発の申請・稼働に伴う事前了解権を周辺自治体へ拡大することを求める意見書	亀尾共三 外2名	不採択
女性の地位向上を求める意見書	板井 隆	採 択
日米地位協定の見直しを求める意見書	加藤 学 外2名	不採択

女性の地位向上を求める意見書

今年4月に発覚した、高級官僚による女性記者に対するセクシュアル・ハラスメントや、東京医大入試での女子受験者への点数操作問題等、日本社会のなかで男女平等の実現に向けての課題があることを明らかにした。

日本の女性のおかれている地位は、男性と比較して大きな差別と格差がある。男女平等の到達は、発達した主要先進国の中で最も遅れている。

女性労働者の賃金が非正規も含むと男性の約7割（平成28年厚労省）に過ぎない。欧米諸国では女性の賃金は男性の賃金の8～9割と格差が縮小している。また、ヨーロッパでは出産、子育て期の女性の8割が働いているが、日本では妊娠・出産を機に5割の女性が仕事を辞めている。

女性国会議員の比率や、司法や行政、民間などあらゆる分野で方針・政策決定の過程に参加する女性が圧倒的に少ないことも女性の地位の低さを示すものだ。

女性への暴力やセクハラは、女性の人権と基本的自由の尊厳を冒すものであり、許されるものではない。背景には、女性蔑視の風潮や女性差別意識の根強さがある。日常の社会生活のなかで女性の人権を守り、差別や暴力を許さない社会的合意が必要だ。

世界経済フォーラムが毎年示す「世界男女格差ランキング2017」では、日本は144か国中114位という低さだ。日本の女性の人権、平等の遅れは、国連・女性差別撤廃委員会や人権

規約委員会などの国際機関から繰り返し改善が指摘されている。女性に対する格差と差別の是正のために、女性差別撤廃条約批准国としての責任を果たし条約にもとづく実効ある施策を具体化し、実施することが求められている。男女平等の社会を実現するために以下の点についての取り組みを求める。

記

- 働く女性への差別を是正し、職場での男女平等を進めること。
- 子どもを産み育てながら、働き続けられる社会的条件をつくること。
- 深刻な女性の貧困問題を解決するための施策を講じること。
- セクシュアル・ハラスメントをなくすため、行政の指導・援助を強化すること。
- 法律的にも社会的にも、人間としての尊厳、女性の人権を守る取り組みを進めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年9月26日

鳥取県西伯郡南部町議会

【提出先】内閣総理大臣、総務大臣、衆議院議長、参議院議長

Q 効果をどうみるか

A 効果はできているが地域で支えあう視点も大切 町長



白川 我が町では、人口減少に一定の歯止めをかけるための総合戦略が策定され、毎年検証を行っている。

検証委員会からの意見や提言はどのようなものか。また、総合戦略の中で「少子化対策・子育て支援」、「移住Ｕターンの推進」に関わる施策で、効果を含めどのように検証されたか問う。

町長 検証委員会からの意見は、産業振興では「企業誘致と定住政策を合わせて考えてほしい」。少子化対策では「目玉施策が必要」。地域の活力創出では「住民と共に防災の在り方を見直すべき」など多くの意見を頂いた。

これらの意見も踏まえ、総合戦略を改定するとともに、現在進めている取り組みに反映させ

ていきたい。

少子化対策・子育て支援については、平成26年から取り組んでおり、就学前から転入してくる子どもが多くなる状況にあり増加傾向だ。南部町が子育てに力を入れている町として定着しつつある。

移住Ｕターンの推進については、近年、県内でも高いレベルで社会増となっている。これは、里山デザイン機構や地域振興協議会などとともに連携した取り組みの成果があらわれていると考えている。

一方で、高齢化が進み人口減少社会は間違いなくやってくる。その中で人と人をどうやって繋げていくのか。地域で支え合っていくのかという視点が大事だ。

今後国も国の動向を注視しながら、暮らしやすいまちづくりを進めていきたい。

Q デマンドバスをどう利用するか

A 最寄りのバス停までの運行で利便性を向上 町長



荊尾 現在、日の丸バスとふれあいバスで町内の住民の通勤、通院、買い物や子供たちの通学等の移動手段を確保している。10月1日から公共交通体系の改正により住民にとってどう便利になるのか、デマンドバスとはどういうものか問う。

町長 平成28年3月から対象地域に出向いて座談会やニーズの調査を行ってきた。その結果、住民の声を反映し、通勤時間帯の朝の便を維持しそれ以外の時間帯については予約型の町営バスで補う計画をまとめた。

町で行う運送部分を南さいはく線とし、14人乗りのバスを配置し、決められた時刻に出発するデマンド型、いわゆる予約型を用意し、日の丸バス路線では入り切らなかった全ての集落に

3か所の乗車ポイントを設置し、住民の利便性の向上を目指す。

南さいはく線をデマンド型とすることで、予約がない便は走らないが、主に小学生の登校に利用していただく平日の朝の1便は予約なしで走る。

帰宅便全ては丸合から図書館までを予約表で運行する。丸合、西伯病院、西伯小学校等からの帰宅や米子方面からの日の丸バスの乗り継ぎは、待機しているバスに先行を告げていただければ希望のバス停まで運行する仕組みである。

公共交通を維持するには皆さんに乗っていただくほかはない。バスを活用し地域が活性化しなければ意味がない。バスに乗ることや公共交通を残すという意識と行動をお願いしたい。



法勝寺高校跡地利用事業

亀尾共二 議員

Q 社会福祉の事業をJOC Aにした理由は

A 県から障害福祉サービス事業所の指定を受けた 町長



亀尾 6月議会の答弁をもとに、法勝寺高校跡地利用について、再度問う。

○JOC Aは、公益の社団法人で社会福祉の事業ができる。しかし、町には、他にも社会福祉の事業所があるのになぜJOC Aに決めたのか。

○町所有の土地の売却価格はいくらか。建造物の解体費用も含むのか。

○大豆加工所をどうするのか。

○JOC Aの施設で、人が集まり活性化につながると言われる。その事業計画の内容を示すこと。

○行政調査地、行善寺の説明では、温泉が必須と言われた。温泉掘削に町から支出の追加をしない、工事に伴い道路の改修費用も支出をしないと断言すべきだ。多世代協働型交流拠点施設建設計画について問う。

○温泉掘削に町から補助金を出

す要綱の提示と説明を求める。

町長 ○地域の方々が交流拠点施設で行う生涯施設事業についてJOC Aが県から、生涯福祉サービス事業所の指定を受け実施されるものである。

○南部町生涯活躍のまちづくりに参画するJOC Aの取り組みは、国の地方創生で共生のまちづくりモデルの実現を目指すものであり地域福祉の向上、雇用の創出、地域の活性化などの実現に考えている。

○地権者と用地交渉の段階にあり、控えていただきたい。

○大豆加工所は一時的にめぐみの里と法勝寺児童館の利用いただけるよう調整を図っている。

○拠点施設は、温泉、コミュニティレストラン、生涯福祉サービス、高齢者福祉サービス、子育て支援サービスの機能を「ごちゃまぜ」で整備し、温泉やレストラン等の売り上げと福祉サービス事業収入で運営の予定と聞いている。

農泊推進事業

仲田司朗 議員

Q 町が考えている農泊推進事業の概要は

A ランナーズ・ヴィレッジプロジェクトに取り組む 町長



仲田 農林水産省が推進する滞在型観光農泊事業が9月補正予算に上程された。内容は、民泊協議会（仮称）を組織し、体験型農泊の取り組みを推進することとなっているが、町が考えている農泊推進事業の概要はどうなっているのか。

この事業は、全額国費で賄えるとのことだが、国事業が終了した3ヶ年目からはどのように運営していくつもりなのか。

町長 国では農山漁村の所得向上を実現する上で、重要な柱として農泊を位置づけ、インバウンドを含む観光客を農山漁村に呼び込み、地域一丸となって農山村滞在型旅行をビジネスとして実施できる体制を整備するものである。町としては、現在民泊新法に基づく民泊の届けを進めておられる個人の

方々や既存の事業者や飲食店、南部町ならではの体験メニューを提供できる団体等で協議会を設立し、関係機関の協力のもと、町独自の滞在型観光メニューを提案していくと考えている。

町が考えている農泊推進事業の概要は「事業構想大学院大学」が提唱しているランナーズ・ヴィレッジというプロジェクトに取り組んでいきたい。地域の特色を生かしたランニングコースと宿泊をセットにしたスポーツツーリズムを推進し、観光客の増加と消費の拡大を狙うものである。

今回活用する農山漁村振興交付金の使途は、農泊を観光ビジネスとして自立的に活動できる体制の構築やプロモーション、研修等の初期費用に充てるもので、2年間で農泊が観光ビジネスとして成立するよう事業を組み立て3年目以降は協議会に属する各団体が独自に収益を上げることで運営されることとなる。

Q 地区ビジョンや賑わい創出をどのように

A 2施設の相乗効果での賑わい創出を 町長



景山 我が南部町の中心地である法勝寺地区や手間地区では商店街も衰退し、地域で生活必需品を購入することも出来ない。

現在、この2地区の一方の法勝寺地区では公民館西伯分館を核とした複合施設、そして青年海外協力協会が事業主体となる温泉を有する総合福祉施設の建設が行われようとしており、地区全体のまちづくりに取り組む絶好のタイミングと言える。

これら施設を活かした地区ビジョンや経済効果、賑わい創出効果や定住・交流人口の増加策をどのように考えているのかを問う。

町長 南部町で進める生涯活躍の町構想では、町全体を対象地区と考え、役場や銀行、農協や医療機関が集中し公共交

通の要所でもある法勝寺エリアを拠点エリアと位置づけ、整備

済みのお試し住宅に続き、法勝寺高校跡地を利用した地域交流拠点施設、南部町公民館西伯分館建て替えに伴う複合施設の整備を計画している。

青年海外協力協会が事業主体となる地域交流拠点施設は、温泉、コミュニティレストランなどを整備し、地域の方々、障がいのある方、子どもたちなど多世代にわたり交流や就労ができる拠点整備を目指している。

一方、複合施設は西伯小学校と隣接し、図書館や公民館機能を中心とした街の文化の拠点施設を整備するもので、バスターミナルやカフェも併設し、バス利用者をはじめ町民の方が気軽に利用できる場を提供する。

これら施設の整備により、町民の方はもとより、町外からも人を呼び込み相乗効果による町の賑わい創出を目指している。

Q 来年のプール開放はどのような形で行われるのか

A PTAとしては来年も実施しない 教育長



加藤 今年の夏休み期間中、会見小学校では午後からのプール開放が不規則な形で行われた。昨年まではPTA主導で4人の監視体制で行われていたが、今年はいみ児童クラブ主導で行われた。

- ①プールの監視体制、人員配置はどうだったのか。
- ②参加人数は。
- ③プール開放日の決定はどのように行われたのか。
- ④プール開放日の周知はどのように行われたのか。
- ⑤今年のプール開放について保護者の感想は。
- ⑥小学校のプール開放をどのような位置付けとして考えているのか。
- ⑦来年のプール開放はどのような形で行われるのか。

教育長 ①いみ児童クラブのスタッフ以外に教育委員会事務局や子育て支援課の職員、常時4人以上の体制で行った。

- ②平均利用者は37人。
- ③児童クラブの要望に沿いながら学校と協議し、期日、時間帯を決めた。
- ④学校を通じてプール開放日の案内を全保護者に配布した。
- ⑤現段階で教育委員会、学校、児童クラブ、子育て支援課等に苦情の声は入っていない。ただ、猛暑が続く中、プール開放にこだわるものはいかなものかとの声が比較的多くあったとPTA執行部は受け止めている。
- ⑥利用者はごく僅かであり、子供たちの夏休みの生活環境の変化が大きく影響していると考えており、今日的ニーズに合わなくなっている。
- ⑦PTAとしては来年も実施をしない予定と聞いている

一般質問

産廃場の近くに町の水道水源がある。全町民の問題であり、この際水道水脈の調査を求めたい。

業者が法的に問題がないのか県に確認を求めるべきではないか。この件について町民からの声を聞いているか。

真壁 許可後25年を経て再開したいとしている鶴田地区の産廃最終処分場について問う。



産業廃棄物最終処分場問題

真壁容子 議員

Q アスベストは受け入れないと言うべき

A 住民への説明は必要と思う 町長

町長 町民から心配する声というのは、なんとかこれを止められないか、法律的にできないのかという声だったと思う。

展開検査の責任は受け入れ業者という制度だ。それをもってまちがいなく（安定）5品目に限るということを確認できるかといえば、少し怪しいのではないかと、現実的に思う。

（アスベストの搬入は）届け出で済むということだが、町に對しての申し出や、住民に対する説明は必要と思う。その条件を県も付けていると思う。

県への問い合わせは、違法性がないかどうかということは重要なことなので担当課のほうから確認させたい。

水脈調査は方法や財源を検討はするが、簡単にはできないだろうと思っている。

地方創生

細田元教 議員

Q 総合戦略の仕上げと次期戦略の準備は

A 点検・検証を行い事業の絞り込みを行う 町長



細田 地方創生総合戦略は5年間で第一期であり31年で終わる。

我が町では地方創生交付金を使い、特にハード事業中心に町づくりを行なって来ているが、このハード事業を活かした総合戦略の仕上げと次期戦略の準備はどのようなになっているのか問う。

町長 これまでの取り組みを点検・調査・分析を行なった上で、平成32年度以降の次期総合戦略の策定に取り組む。今年度から最終年である平成31年度は総仕上げの期間となる。

次期戦略を視野に入れた助走期間として、次につながるしっかりとした基盤をつくり、町民の皆さんに活用していただき、活力ある安心して住み続けられる南部町を実現したい。



今後は南部町独自の事業を活かしながら事業を絞り込み、南部町で暮らす全ての人が生きがいや、それぞれの役割を持ちながら共生していく社会を実現していきたい。

教育委員会、企画政策課

質問1 福里団地前と円山団地前の県道に信号機の設置をお願いしているが、一向に進まない現状について。
回答 鳥取県公安委員会が優先順位をつけて設置します。行政要望には今まで挙がっていない場所ですので、企画政策課としては各協議会より挙がっている行政要望について鳥取県公安委員会へ要望しています。
 (企画政策課)

質問2 福里団地前と円山団地前の県道に信号機の設置をお願いしているが、一向に進まない現状について。
回答 福里団地前と円山団地前の信号機設置については、平成29年度に「南部町通学路交通安全プログラム」の対策要望箇所として、学校、PTA、地域振興協議会、鳥取県、鳥取県警察、国土交通省日野川河川事務所、本町建設課、企画政策課及び教育委員会の代表者を構成員とする「南部町通学路交通安全確保に向けた連絡会」において、現場確認を実施しました。構成員である県警のご意見を踏まえて、現時点での設置は困難であるとの判断に至った経緯があります。いずれも交通量、交通事故の発生件数を勘案すると、早期の設置は困難であるとの回答を警察からいただいています。(教育委員会)

産業課

質問1 農村振興公社の仕事と内容について教えてほしい。(個人的にも頼むことができるのか)
回答 南部町農村振興公社は高齢化などにより営農が難しくなった農家の農作業を請け負い、農地の保全と地域農業の振興を目的としています。
 受託している作業は、耕耘、代掻き、田植え、稲刈り、籾運搬、大豆播種、中耕培土、大豆刈取り、大豆運搬、そば播種、そば刈取り、乾燥・調整です。個人の依頼も受け付けをしています。

質問2 農産物直売所の売り上げが落ちている。売上調査などを行い、出荷者との協議を進めてほしい。
回答 代表者との意見交換会を開催し情報交換を行うと共に、今後の振興へ向けて検討を行います。

質問3 法勝寺高校跡地利用で大豆加工所が解体される。近いどこかに施設が計画されているか。
回答 町営の加工施設施設として、めぐみの里「えぶるん」の利用をお願いしています。法勝寺高校跡地に建設される施設内に、同様の機能を持つ設備を持っていただく様交渉をしています。

建設課

質問1 水道料金の2年後の値上げについて、検証をしながら料金設定を考えて欲しい。
回答 平成32年度の水道料金の改定は、条例どおりの改定を予定しています。その後の改定は、収支を検証し検討を進めます。

質問2 町道の基準について、中山間地域では1戸だけの進入路も多くある。今後、住み続けるためには、自助努力では困難であり行政の協力が必要である。
回答 町道の認定は、2戸以上で生活基盤の道路としての利用がある道路、または全幅が2m以上の道路のいずれかに該当し必要と認められる路線を認定しています。
 町道や町道以外の生活道路については、各協議会主体で行う道路改良や舗装についての支援をする生活道路改善支援事業がありますので、ご利用をご検討ください。

健康福祉課

質問1 地域福祉委員あてに「いくら郷」について、ひきこもりのアンケートがあった。町では把握ができないからとのことであったが、なんで社協がなのか、町の仕事だと思った。
回答 アンケートは地域福祉を担う、社会福祉協議会が設置された「地域若者支援センターなんぶ」における相談支援活動の参考にすることを目的に、同協議会が委嘱された地域福祉委員を対象に実施されました。
 町では、今後保健師を中心に社会福祉協議会と同行訪問等で実態把握に努めてまいります。

「議会住民の声をきく会」における 住民から執行部への質問及び回答

6月30日、7月1日に開催しました「住民の声をきく会」での、参加者皆様からの質問内容は6月「議会だより」で掲載させていただきました。今号では、回答を含め報告をさせていただきます。

来年以降も魅力ある、この会を開催したいと思いますので、町民皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。



議 会

質問1 事業の検証がなされていないように感じる。
回答 年4回の定例議会と臨時議会において、執行部提案の全ての事業について審議しています。予算決算常任委員会(全議員構成)で、全事業の説明と報告を受けて審議、検証をしています。

質問2 鶴田の産業廃棄最終物処分場の話がある。議会として反対の態度を示して欲しい。
回答 最終処分場の許可権限は鳥取県であり、9月議会において議会として鳥取県に対し「産業廃棄物処分場再開に伴う鳥取県の対応について」質問状を全員一致で採択し、提出をしました。回答を待つ今後、協議を進めていきたいと思っています。

質問3 議員年金復活の話があったがどうか。現在の議員の報酬金額はいくらか。
回答 現時点で年金復活の話はありません。報酬月額は、221,000円です。

企画政策課

質問1 地域振興協議会で区長、評議員の名前が二つあり、使い方がおかしいので整理してほしい。各集落区長特別職の復活をしてほしい。
回答 評議員は、地域振興協議会の意思決定機関である評議会の構成員として、各協議会の規約で定められています。区長は、各集落の代表者として各集落で設置されています。南部町は、地域振興協議会による「まちづくり」を進めていますので、区長協議会制度への復活は考えておりません。

質問2 海外青年協力協会(JOCA)に対する9,900万円の補助金が理解できない。温泉が出た場合の権利利益はどうなるのか。
回答 青年海外協力協会(JOCA)が主体となって温泉掘削を行うものですので、その権利及びそれに伴う義務はJOCAに属するものと考えております。また、町民の皆さんに温泉湧出に伴う利益を享受していただけるよう協議を進めて参ります。

質問3 複合施設の建設について、規模と施設内容について町民への説明がなされていない。住民への説明をするべきだ。
回答 複合施設の規模及び施設内容等については、然るべき時期に利用される町民の皆さんへの説明会を開催したいと考えています。

「南部町青年議会」を開催します。 町に政策提言…!!

南部町の若者、高校生サークル「With You翼」と新☆青年団「辺とつくり」から名乗りを上げた14人が南部町青年議員として、町に政策提言の「一般質問」を行います。日程は下記の通りですので町民の皆さん、傍聴にお越しく下さい。

南部町「青年議会議員」一般質問

本会議日程／平成31年1月26日(土) 午後1時30分開会
会 場／南部町本会議場（法勝寺庁舎3階）

（議会の傍聴について）

南部町青年議会では、公開の原則にもとづき本会議の傍聴をすることが出来ます。傍聴を希望される方は、会議当日、南部町役場 法勝寺庁舎3階の議会事務局にて受け付けをお願いします。傍聴券を交付いたします。

（傍聴の手続き）

受付で、住所・氏名及び年齢を傍聴人受付簿に記入し、傍聴券をお受取りください。傍聴席は一般席と報道席に分かれています。一般席の定員は38人とし、車いす使用席の定員は2人となります。希望者が多い場合は議員控室にライブ中継(テレビ)を準備します。なお、当日傍聴できない方には後日、なんぶSANチャンネルでの放映もされます。

議会活動日誌

7月		
日	曜日	会議・行事
1	日	住民の声をきく会（プラザ西伯）
3	火	南部町議会行政調査
4	水	南部町議会行政調査
5	木	南部町議会行政調査
11	水	広報常任委員会
12	木	西部議長会正副議長局長研修会
13	金	全員協議会
19	木	全国森林環境税創設促進議員連盟第25回定期総会・広報常任委員会
20	金	全国森林環境税創設促進議員連盟第25回定期総会
30	月	議会改革調査特別委員会

8月		
日	曜日	会議・行事
7	火	鳥取県町村議会広報研修会
8	水	市町村議員研修「3日間コース」地方議員のための政策法務
9	木	市町村議員研修「3日間コース」地方議員のための政策法務
10	金	市町村議員研修「3日間コース」地方議員のための政策法務
20	月	議会運営委員会

21	火	西部町村議会研修会
22	水	鳥取県町村議長会役員視察
23	木	鳥取県町村議長会役員視察
24	金	鳥取県町村議長会役員視察
27	月	西部町村議会議長会行政調査
28	火	西部町村議会議長会行政調査
29	水	西部町村議会議長会行政調査

9月		
日	曜日	会議・行事
6	木	議会運営委員会・全員協議会・定例議会本会議
7	金	定例議会本会議
10	月	定例議会本会議（一般質問）
11	火	定例議会本会議（一般質問）
12	水	常任委員会
13	木	常任委員会
14	金	常任委員会・議会改革調査特別委員会
18	火	常任委員会
19	水	常任委員会
20	木	常任委員会
25	火	議会運営委員会・全員協議会
26	水	定例議会本会議



青年議員の決意表明（平成30年10月13日開催）
第1回「議員と青年議員との研修会」より

新 委員会構成を紹介します

本会議場の議席配列で構成しています

【常任委員会(任期2年)】

- 予算決算常任委員会（定数 14人）
- 総務経済常任委員会（定数 7人）
- 民生教育常任委員会（定数 7人）
- 広報常任委員会（定数 8人）

【常任委員会(任期2年)】 ○予算決算常任委員会（定数 14人） ○総務経済常任委員会（定数 7人） ○民生教育常任委員会（定数 7人） ○広報常任委員会（定数 8人）		はた いちろう ⑭ 秦伊知郎  議 長 総務経済 予算決算	まかべ ようこ ⑬ 真壁容子  議会運営 民生教育 予算決算	議 長・副 議 長【任期4年】 議会運営委員会（定数 6人） 【任期2年】 ◎ 委員長 ○ 副委員長 ○印は議席番号	
かめおきょうぞう ⑫ 亀尾共三  総務経済 予算決算	いだ あきお ⑪ 井田章雄  副議長 民生教育 予算決算 広報	ほそだもとのり ⑩ 細田元教  民生教育 予算決算	かげやま ひろし ⑨ 景山 浩  ◎議会運営 民生教育 予算決算 ○広報	いたい たかし ⑧ 板井 隆  ○総務経済 予算決算 広報	なかだ しろう ⑦ 仲田司朗  議会運営 ◎総務経済 予算決算
みかも よしふみ ⑥ 三鴨義文  ○議会運営 総務経済 ◎予算決算	しらかわ たつみ ⑤ 白川立真  ○民生教育 予算決算 広報	ながつかひろのぶ ④ 長束博信  議会運営 ◎民生教育 予算決算 広報	たきやま かつみ ③ 滝山克己  総務経済 ○予算決算 広報	かたらお よしゆき ② 荊尾芳之  議会運営 民生教育 予算決算 ◎広報	かとう まなぶ ① 加藤 学  総務経済 予算決算 広報

【その他委員名簿】

監 査 委 員	南部町・伯耆町 清掃施設管理組合議会	南 部 箕 蚊 屋 広 域 連 合 議 会	西部広域行政 管理組合議会	後期高齢者医療 広 域 連 合 議 会
細 田 元 教	秦 伊知郎 細 田 元 教 加 藤 学 荊 尾 芳 之	秦 伊知郎 真 壁 容 子 細 田 元 教 景 山 浩	秦 伊知郎	細 田 元 教

あいみ手間山地域振興協議会

「里地里山を活用した ツーリズムを展開」



ここ手間地域は、山林と緑豊かな田園が広がり自然と歴史に満ち溢れています。

手間要害山は、地域の人から『手間山』と呼ばれ、山頂には赤猪神社跡があり、歴史や文化の発祥地として親しまれ、麓には大正9年に寺内の久清神社と山頂にあった赤猪神社を合祀された大国主命を祀る再生神社とパワースポットの霊験あらたかな赤猪岩神社があります。

この手間山の『地域の宝』を活用したエコツーリズムに平成23年から取組んできました。

はじめに、遊歩道をトレッキングコースとして利用できるように草刈り、倒木撤去、雑木の伐採などを行って、気軽に散策できるよう整備し、コース内に自生している31種類の樹木にプレートを示して樹木の観察が楽しめるよう工夫をしました。

中間地点には落ち葉を敷き詰め、巣箱、丸太椅子などを設置し、自然体験ゾーンを整備して、枯葉の上で寛ぎ、野鳥の鳴き声や清々しい風に当たりながら、時のたつのを忘れてゆっくり森林浴が楽しめます。

また、自然観察会を活用して自生する植物の『手間要害山で見られる植物』35種類の写真を掲載した冊子を自然観察員の指導の下で完成することができました。

今年は、新たな復路コースを探すため、草刈り・枝打ちなどしながら、谷合の起伏の富んだ獣道を整えて赤子岩、清水井まで辿り着きました。が上級者向けのコースに感じました。

この里山（手間要害山）を更に磨き上げ、地域内外の人達との交流拠点になるよう継続的に取組んでいき

たいと思っています。

グリーンツーリズムのコンセプトは『大地に学ぶ』と題し、農作物を栽培することにより『楽しさ』『喜び』『驚き』『感動』が体験できることです。

耕作放棄地を活用し、畑作物を栽培して近隣に僅かでも波及効果を期待して平成23年に『てま山農園』をオープンしました。

農業を通じて人と人が繋がるため、入植者を募り非農家と農家との交流が生まれ、地域が活性化する仕掛けづくりに取組みました。

地域の農家の協力や多くの方々のボランティア活動により農園運営が成り立っていますが、特に、南部中学校のふれあいデーで生徒のみなさんが参加した野菜苗の植付作業が印象に深く残っています。

一緒に汗を流しながら活躍していたとき、大人と生徒たちとの『ふれあい』、『会話（おしゃべり）』は貴重でした。

また、さくら保育園の園児たちとは、たまねぎ収穫体験を通して、作物の育成、食物の大切さなどをお話して、この体験が食育に繋がると思っています。

この農園で収穫された無農薬野菜は、ふれあい部員が見守りも兼ねて各集落の高齢者世帯に配布をしています。

最後になりますが、来年は猪年です。手間山と赤猪岩神社とコラボした新たな事業を企画して地域内外との交流を深めるとともに、大地に学び農作物の生命力に感動する食育に連動した事業を推進したいと思っています。

あいみ手間山地域振興協議会

会長 唯 仁司

あとがき

災害は忘れたころにやってくると、昔から言われていましたが、近年は、災害は何時やってくるかわからないというように、地震・台風・火災・風水害と災害の頻度が全国いたるところで発生しています。防災、減災を日常生活の中で常に考えなくてはいけないような今日この頃だと思ふのは私だけでしょうか。

災害時には、議長は災害対策本部に張り付きませんが、他の議員は地域の方と一緒に防災対応に協力して、地域住民の安心安全な暮らしに寄与することが議員の使命だと思っています。

（仲田）

広報常任委員会

委員長

仲田

司朗

副委員長

荊尾

芳之

委員

景山

浩

三鴨

義文

立真

白川

長束

博信

滝山

克己

学

加藤